

戦はこれからだ！

大東亞戦争遂行の態勢は完成した。戦はこれからである。印
 度でも米大陸でもロンドンでも米英を撃滅するまで進攻する態
 勢は整った。もしも米英が屈服しなければ、子の時代、孫の時
 代に譲つても屈服するまで戦ふのである。

世界新秩序建設は皇國三千年の光輝ある歴史を承け継ぐわれ
 等一億國民の責務である。一億一心盟邦獨伊と相提携し米英撃
 滅まで戦ひ抜かねばならぬ。酷寒零下四十度の北滿に黙々とし
 て守りを堅め、廣大なる支那大陸に日夜重慶軍戡定に猛進しつ
 ゝあるわが精強のあることを常に心に收め、日夜その勞苦を偲
 びつゝ米英撃滅に邁進しようではないか。

目次 (三月一日號)

新嘉坡陥落せり	長谷川總督	二
新嘉坡陥落の意義	荒木義夫	六
建設に奮進せよ	齋藤部長談	一〇
憧れの志願兵へ	福澤 清	二
臺灣憲兵補制度		三
臺灣大東亞戦争を繞りて		五
朝鮮志願兵(中)	黒木俊朗	三
時局 大東亞戦争の推移	情報課	六
時局 皇軍の強さ(一)	中美春治	一六
時局 皇軍の強さ(二)		一八
皇軍感謝週刊		二〇
志願兵訓練所		二二
國債の消化		二四
臺灣勞務奉公團		二六

疲勞 恢復



強カビタミンB劑

オリザニン

本邦唯一の華士院賞に輝くビタミンB劑

疲勞の原因は体内の糖分が分解して乳酸を生じ、之が体内に蓄積するからであるとも云はれてゐる。

ビタミンBの補給は体内乳酸の生成を防止し、細胞機能の低下を未然に防ぐことは既に實證せられてゐる。

(錠) 50錠 1.20 (末) 30瓦 1.30

(其他エキス・液・注射液) ●地区を除く



東京・日本橋・室町 三共株式会社



新嘉坡陥落に際して

臺灣總督
海軍大將 長谷川 清

難攻不落を世界に誇つた英國アジア侵略の牙城シンガポール島要塞は、遂に二月十五日精強無比なる皇軍の前に屈服致しまして、百二十餘年に亘つた東洋制覇の根拠地から英國勢力は竟に總退却の已むなきに至つたのであります。

大東亞戦争の劈頭ハワイに於ける米太平洋艦隊の殲滅に次いで、マレー沖の大戦果があり、香港、比島は瞬く間に日章旗が打ち靡き、續いてビルマの制壓、ボルネオ

セレベスの要衝占據となり、遂に對日包圍の中樞シンガポールを撃碎し、世界戦史に比類のない大戦果を擧げまして、一億國民の歡喜と士氣の昂揚は、正に天を衝かんとする有様であります。

此れ一に

大元帥陛下の大御稜威の下、或ひは炎熱と闘ひ、瘴癘を克服し、或ひは怒濤を乗り越え、天峻を排除して、勇奮力闘せられました皇軍將兵の辛苦の賜でありまして、又

尊い血潮を以て彩られた大和魂の金字塔とも申すべきであります。私は茲に深甚なる慶祝の意を表しますと共に、護國の華と散られました幾多の英靈に對し、衷心より敬明の誠を捧げ度いと存する次第であります。又その遺家族並に傷病將兵に對し、深き同情を呈する次第であります。

曩に我帝國が東洋平和を確立し、引いて世界の平和に寄與せんとする念願を持ちまして、忍び難きを忍び、米英に對して幾多の折衝を重ねました事は、諸君の既に御承知の通りであります。此の間米英兩國は毫も帝國の眞意に耳を傾けず、兩國相策謀し之に應ふるに對日包圍陣の形成を以てしたのであります。

而して之を彼等は自らABC D對日包圍陣と呼びまして、ハワイ、マニラ、シンガポール等を據點としてその武備を増強し、日増しに帝國に對する脅威を増長させて行つたのであります。此の包圍陣と稱するものの背後に藏せられたものは何であつたのでありませうか、其處には實に米英の生命線とも言ふべきアジア搾取の大動脈が藏されて居つたのであります。

即ち米國は蘭印のゴム、錫を多く自國に回送致しまし

て、その國防資源と致して居りました。マレーに於る世界第一の産額を誇るゴムと錫は、是れ亦英國の軍需工業資源の凡てを賄つてゐたのであります。印度と濠洲は英國國民の衣糧の主要なる供給源を爲してゐるのであります。

然るに今やハワイ、マニラ、シンガポールの防衛點は皇軍の威武の前に潰えまして、反對に皇軍による米英陣營逆封鎖の大鐵環完成となつて現はれました。彼等の命と賴む物資補給の大動脈は、ビルマよりする重慶政權への輸血路と、その運命を同じくする日も餘り遠くない事と存じます。

嘗て英國のロバート卿は「シンガポールが世界の歴史を決定する日が来るであらう」と豫言致しました。それが近き將來であるか或は遠き未來であるかは言及しなかつたのであります。英國はその日に備へ巨億の財を惜しまず海陸の城塞を固めたのであります。今日忠勇なる皇軍によつて敢へなく陥落致しました事は、誠に笑止千萬と申さねばなりません。

茲に於て帝國の戰略上の根據は確然と打ち樹てられまして、戦は愈々本舞臺になるのであります。我々は斷じ

て戦に勝たなければなりません。
 而して大東亞戦は長期戦に依つてのみ勝つ事が出来る
 と言ふ事を銘記する必要があります。それは何故である
 かを述べて見ませう。米國は財物の豊かな事に於て世界
 一を誇る國であります。必ずやあらん限りの資源を動員
 し、南米諸國をもその陣營に引き入れて、國防資源
 の培養を圖り、軍備の補給と擴充とを以て我に抗して來
 るべきであります。英國も亦世界の海洋を制して來た傳
 統の海軍國でありますから、是亦獨英戰に示して居りま
 す如く、又シンガポール島の最後に示しましたが如き執
 拗さを以て抗戦を續ける事は明白であります。是等の抗
 戦を制する爲には帝國は一段と國防力の擴充、軍需國
 防工業の確保を永久化する必要があります。
 幸に共榮圈内の諸邦は豊かなる資源を以て恵まれて居
 りますから、之が帝國に對し充分の協力を示す場合に於
 きては、帝國の必要とする國防資源は競争がいくら
 永引きましても充足せられるのであります。然し之を
 役立たしめるには輸送陣の増強を必要とするのでありま
 して、多數船舶の建造を爲し遂げなければなりません。
 之に加ふるに共榮圈諸邦の新建設と言ふ骨の折れる大事

業を遂行する事を要するのであります。是等を完成す
 る爲には相當の長期に亘つて國民總力の發揮が要請せら
 るるのであります。
 此の重大なる使命が、我等一億後の國民に負荷され
 てゐるのでありますから、我々は緒戦に於る此の大戦果
 に歡喜して前途を樂觀したり、或は各人凡てが有力なる
 總力戦士である事を忘れては相成らぬのであります。
 我が臺灣は多年南進基地としての使命を果して來たの
 でありまして、殊に今次大戦に際しましては非常に重要
 なる役割をつとめつゝあるものであります。今後益々臺
 灣の重要さは加重せらるゝものと存じますので、諸君の
 切なる自重奮勵を望むものであります。
 畏くも宣戰の大詔に
 「朕カ衆庶ハ各々其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ
 擧ケテ征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコトヲ期
 セシ
 と仰せられてあります御聖旨を奉戴服膺致しまして、輝
 かしき帝國の聖業に益々翼賛の誠を捧げられん事を切望
 する次第であります。

臺灣憲兵補制度

新嘉坡陥落の日に第一回締切
 本島人青年の烈々たる意氣

本島統治史上に劃期的な
 一大新制度施行を見るに至
 つた陸軍特別志願兵制度と
 共に、期せずして一致した
 「臺灣憲兵補」の新制度は、
 去る二月一日より募集を開
 始して以來、同月十五日の
 締切まで、全島にわたつて
 本島青年志願者の烈々たる
 志願熱が顯現され、遂に十
 五日の締切當日は世紀の凱
 歌、新嘉坡降伏と云ふ戦捷
 報もおりこまれる等文字通
 り感謝感激の埒場に終始し

て、志願者總数は二千五百
 三十六名の多きに及んだ。
 これを州別に見ると、臺
 北州五〇七、新竹州三八〇、
 臺中州七一七、花蓮港廳九
 〇、臺東廳二八、臺南州三
 三九、高雄州四四八、澎湖
 廳二七、合計二五三六名で
 ある。
 教育程度別では、中等學
 校卒業以上は七百三十餘名
 で、約三十五パーセントを
 占めてゐる。その内容は、
 大學卒一〇、高等專門學校
 卒一九、中等學校卒六九七、
 國民學校卒一八一〇であ
 る。
 職業別では公務員七〇
 二、商業二五〇、農業一七
 七、工業一三七、交通業六、
 その他となつてゐる。
 年齢別では二十二歳の四
 百十八名が首位で数字的に
 見てもそれぞれ極めて良好
 な成績を
 あげてゐ
 る。
 これ等
 青年は何
 れも眞劍
 熱烈な志
 願をな
 し、身體
 検査の際

濃州傳日本刀
 濃州關住名匠一子相傳の力作
 金剛無敵の我が國と兵に世界に誇る
 日本刀の聖地として世に知られる濃州の
 刀匠中に於て最も譽れ高き名匠の傑作さ
 れし名作を頒布す。眞くは一家に一覇
 家寶として所蔵されん事。
 詳細書入目録送呈
 切手八圓封入申込大御進呈
 贈呈
 式金七十五圓
 式金八十五圓
 式金九十五圓
 式金四十八圓
 式金五十五圓
 東京市牛込區通寺町六八番地
 日本刀專門 勇魂社
 電話 牛込一四五六番

シンガポール陥落の意義

情報委員長 荒木義夫

神速世界に比なき皇軍精銳諸部隊は、疾風迅雷の猛進撃を以て全マレーを僅か五十五日で攻略、更に難攻不落を誇つて東亞のジブラルタルと稱せしめたシンガポール島要塞をも、果敢なる捨身の敵前上陸と陸海空三位一體の至妙なる作戦により、完全に占領致しまして、英國が東亞に於ける最大にして最後の牙城と恃んだアジア策源の據點シンガポール島をも遂に崩壊せしめ、日章旗は南海の空を壓して翻轉はためいてゐるのであります。

是もとより上御一人の御稜威に依るものではありまするが、熱帯の酷暑と

密林濕地等の悪地形を能く克服し、勇奮力闘されました皇軍將兵の言語に絶する辛苦の賜であります。

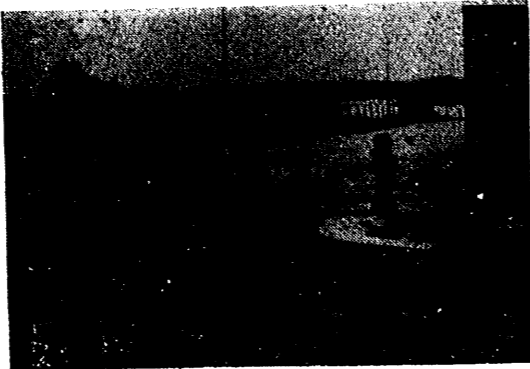
茲に深く感謝を捧げ、益々武運の長久ならん事を禱りますと共に、此の輝がやかしい戦果の裡に護國の華と散り果てられた幾多の英雄に對しまして、謹んで哀悼の意を表する次第であります。

私共はシンガポール陥落を心の底から喜び、手の舞ひ足の踏む所を知らない程に喜んでまいりました。第三國筋から見ましても、シンガポール作戦は戦略的に見て大東亞戦争の峠である」と云はれてをりました。大東亞建

英國東亞侵略の牙城 二月十五日遂に崩壊

私は此のシンガポール陥落の快報を數日も前から今や遅しと待ち望んで居り

設の前途はまだ遠いのであります。作戦的に見ますならば一應一段階を盡したものと云ふ事が出来るのであります。シンガポールは遂に陥ちたのであります。大東亞戦争が斯くの如く幸先の良い滑り出しをしましたからに



敵の破壊せるコースウェー(陸橋)より對岸シンガポールを望む〇〇部隊

は、大東亞建設の前途に如何なる困難如何なる障害があらうとも、私達は力に充ち、勇氣に溢れ、洋々たる希望を持つてゐるのであります。此の上は益々長期戦の勝を固めて、一意聖戰目的の達成に邁進し、光榮ある有終の美を収め、辱くも東亞及び世界の平和を御哀念あらせらるゝ上御一人に對へ奉らんと存する次第であります。世界は變りました。歴史も變りました。私共は無量の感慨を以て改めて世界地圖を開き東亞の歴史を念ふのであります。

が、前歐洲大戰後東亞に於ける自國權益の擁護と對日戦備に名を藉りまして全島を要塞化し、イギリス東亞艦隊の根據地として、その武力的威嚇を以て、佛印、タイ、ビルマ、蘭印及び支那、濠洲、印度を制壓し、之ら諸國の經濟貿易を動かし、地理的、軍事的、經濟的に文字通りシンガポールをアジア侵略の扇の要に作り上げたのであります。而も最近に至りましては、東洋一を誇る大軍港シンガポール要塞は所謂ABC D對日包圍陣の根幹となつて、マニラ、香港を加へる三角形の陣容を以て日本進攻を夢みてゐたのであります。そして蘭印之を頼みとし濠洲印度亦その防衛陣を承つて居たのであります。

然るにハワイ海戦マレー沖海戦による米英兩艦隊漸減に次ぐに香港、マニラの失陥ジャバ沖の海戦による米蘭聯

シンガポールへくゞと猛進を続ける我が機械化部隊と快速砲部隊



砲を分解假荷を渡る皇軍勇士



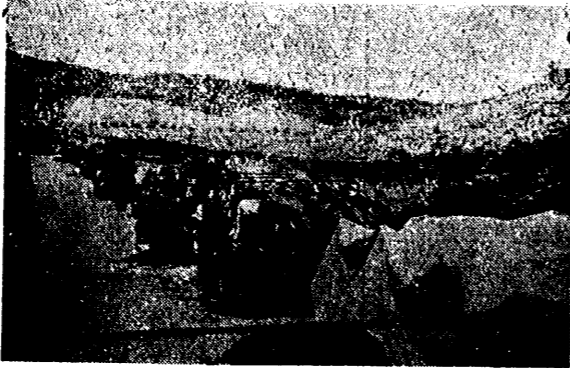
合艦隊の撃滅更に今やシンガポールの陥落に依つて彼等の夢ははかなくも潰え去り、反つて皇軍による逆封鎖の大鐵環の完成を見たのであります。英國軍がマレー戦線に敗退してシンガポールに退却した一月三十一日、英國皇帝ジョージ六世はシンガポール防衛の將

兵に對して「余は汝等が無事にシンガポールに移動したるを喜び、過去五十五日に亘るマレー戦線の勇武を嘉す。今後は新しき戦線に最後を飾り、世界戦史上に輝かしき一頁を加へる様死守する事を望み、且つ命ずる」との親書を送せられて居りますが、皇帝が此の

様な親書を將兵に與へられたことは、先にノルウェーのベルゲン、フランスのダンケルクの敗退に加へて之が三度目であり、英國は常に敗戦に際して皇帝の激勵がある」と言ふ第三國の皮肉な觀察を以てすれば、シンガポールの運命は既に決してゐたのであります。世界戦史に比類なき一頁は、正しく皇軍に依つて添へられ、勇武の稱讃は皇軍の志まゝにする所となつたのであります。

今やアジアに於ける英國最大の據點は覆へされました。英國のアジアに於ける霸權は失はれたのであります。シンガポールを頼みとし、米英依存を極度に發揮して我々を憤慨させた蘭印の運命既に明らかであります。更に皇軍は既にビルマに進攻してビルマルートの根幹ラングーンに迫つてをり、重慶政權の命脈も今は豫測するに難くない

シンガポール街道を長蛇の如く猛進する我快速部隊



事は、印度戦線に姿を現した蒋介石の焦燥振りによつても想像出来るのであります。然しシンガポール失陥による英國最大の痛手は、濠洲及び印度の危機である。

ります。第三國筋例へばトルコのアンカラ電報は、

「シンガポールが陥落すれば濠洲印度は簡単に攻略されるであらう。英米聯合軍が太平洋に於いて示した無能振りとグラシナサは唯々驚くばかりである。」と言つてをります。

東亞最大の據點シンガポール陥落と皇軍のボルネオ、セレベス作戦及びニューブリテン、ニューアイルランド島上陸に依り、全く孤立化した濠洲は、非常なる恐怖を感じ、今まで白濠主義の立場から東亞に於ける英帝國の「忠實なる下僕」の役目を果して來た濠洲も、火の手が自分の家の庇にまで燃え移つて來て、英本國よりの救援に望みの持てぬ現在では、もはや英本國の犠牲となる事を好まず、専ら本國の無能と無責任とを難じ、互に唾み合つてゐる状態であります。

一方シンガポールの陥落により帝國海軍は遠く印度洋に進出して、近東の獨伊同盟軍との提携を可能とするに至り、印度の動搖は漸く表面化して參りました。英國のアジアに於ける軍事的據點はシンガポールにあり、英國存立の經濟的基礎は印度濠洲を中心とするアジアにあります。従つてシンガポールの陥落は延いて英國の存立を累卵の危きに陥れるに到つたのであります。かくしてアジアに於ける英國の霸權失はれるの日、過去三百年に亘るアングロサクソン民族の世界制覇は破れ、世界は新たな歴史の日を迎へるのであります。英國の陸軍大將ロバート卿が、

「シンガポールが世界の歴史を決定する日が來るであらう」と豫言した言葉は、正しく日本の爲にアジアのために實現せられたのであります。七七〇萬

方杆の膨大な土地に僅か六六〇萬の人
口と言ふ濠洲の行方はどうなるのであ
りませうか。過去四百年間其の血と膏
を絞られて、精神的無能力になつてし
まつたと迄云はれる印度人三億五千萬
の將來は如何なるのでせうか。米英は
ヒリツピン戦線にマレー戦線に住民兵
を第一線に弾丸よけとして配しまし
た。それは私たちと同じくアジア人の
血を受けたヒリツピン人でありインド

人でありました。米英軍の退却したト
イチカには、インド兵が足を鐵の鎖で
繋がれて死傷して居りました。竝木に
はヒリツピン兵が鐵の鎖を以て縛られ
て居りました。
口先では正義を唱へ人道を叫ぶ米英
の實際は、正しくは之れであります。
何たる暴虐、何たる慘酷鬼畜にも等し
い彼らの仕打でありませうか。今こそ
アジアは米英の鐵の鎖を断ち切り、彼

聖戰の眞義に徹して建設に邁進せよ

齋藤督府情報委員長談

英國が百二十餘年に亘り、東亞擄取、南洋制壓の牙城として、近くは對日包圍の中
樞據點として、難攻不落を誇り來つた新嘉坡島要港も、我が忠誠勇敢なる皇軍の猛進
撃と至妙なる作戦の前には蓮花一朝の夢と化し、大東亞共榮國建設の逞しい驍騎と共
に二月十五日、遂に崩壊し、大日章旗の翻騰として南溟の空を壓するを見るに至つた
のである。

馬來半島の一角に敵前上陸を取行してより僅かに六旬餘、此の驚異的戰果を擧げ得

等が百年に亘る霸權を撃碎し、アジア
及び濠洲が一環となり翕然として未來
の面目に復る時が來たのであります。
シンガポール陥ちて英國の存立危し、
英國に取つて再び回復することの出來
ない絶對的打撃であることは、逆に日
本にとつて、アジアにとつて絶對的優
利を保證するものであります。然し此
の米英陣營の打撃は、アジア民族の目
覺めの上に自信と誇りを取戻し、全世
界民族への深き反省を促す點に於て最
大なるものであります。シンガポール
陥落の意義は實に以て此處に存するの
であります。自信と誇りを以てアジア
が復興し、アジアが本然の姿に復るこ
とこそ、大東亞戰爭の究極的目標に他
ありません。シンガポール陥落はまだ
大東亞戰爭の今後の長い過程から
云へば緒戦であります。戦ひつゝ且建
設する困難を伴ふ大東亞戰爭は、苟め

たのは、一に御破威の下皇軍將士が熱著と瘴癘を克服し、密林と濕地の天險を排除し
たる辛苦の賜に外ならない。茲に深甚の感謝と祈念を捧ぐる次第である。

惟ふに開戦頭ハライに米太平洋艦隊を撃破してより英、蘭印東亞艦隊の主力覆滅、
香港、比島の占領、ボルネオ、セレス等の要衝占據、マレー半島、ビルマ制壓等驚天
動地の相次ぐ戰果に加へ、新嘉坡の占領によつて敵が誇示せるABC D對日包圍の紐
帶を完全に寸断し去つて、廣袤八百萬平方料の逆封鎖の大鐵環を完成したのである。
嘗つて敵性軍事、經濟的據點として旺盛なる活動を策した新嘉坡は、今後東亞より米
英の一切の殘滓を驅逐して東洋平和を樹立すべき有意義なる據點となつたのである。
而して戦はこれからである。米英の桎梏を背負つて苦吟する諸民族がビルマに、英
印に、蘭印に、更に濠洲に東亞の黎明を翹望してゐるのである。アジア十億の民を暴
戻なるアングロサクソンの羈絆より脱せしめ、東亞民族としての歡喜と矜持とを感得
せしめ、各々その處を得せしむる事が大東亞戰爭の眞義である。

本島は是等南洋の地域に近接し、南方圏の建設は直接我々の身邊に鼓動し、その關
係する所も亦大なるものあり、この際多年南方發展基地たるを唱導して鍊成に努めた
る本島民の責務は特に重大である。今次の大戦は必ず長期戦に移行するであらう。こ
の長期戦には大なる武力戦と建設戦を並行せしめねばならぬ。我々は増進に邁進する
と共に、消費節約と物資の靈隱に一段の努力を傾け、最後の勝利を期さねばならぬ。
巷間やゝともすれば緒戦の大戦果により、直ちに南方資源の獲得と、その消費を妄想
して生活の安逸を夢み、増産と消費規正の肝要を思はざるものなしとせざるが如きは、
大東亞戰爭の性格を忘却せるものと謂はなければならぬ。

島民各位は此の秋、此の際感々大東亞戰爭の眞義に徹し、益々士氣を昂揚して、最後
の勝利と建設への大道に邁進せらんことを切望して已まない次第である。

にもシンガポール陥落を以て一段落と
することを許しません。

富強を誇る米國と歴史の傳統を誇る
英國は容易に屈服せずして、あくまで
長期ゲリラ戦に出る事は明らかであり
ます。

畏くも宣戰の大詔には「禍根ヲ芟除
セヨ」と仰せられてゐるのであります。
米英勢力を完全に屈服せしめ、米英の
意志を我が聖戰目的に屈從せしむるま
で、勝つて勝つて勝ちぬくまで戦ひ抜
かねばならないのであります。かくて
こそはじめて大東亞戰爭最終の目的は
達成されるのであります。

私達が一億一心となつて、愈々その
團結を固くし、戦争遂行のためには一
切を擧げて犠牲となし、以て我が國體
の精華を發揮して行くのはこれからで
あります。帝國南方の據點にある皇民
六百萬に要請するのも、亦之の點に他
ならないのであります。

憧れの志願兵へ

締切を前にして十五萬を突破

先に發表を見た臺灣總督府陸軍兵志願者訓練所生徒募集要綱は、全島幾萬青年の血を湧き立たせたが、ほどばしる赤誠は凝つて志願となり、去る二月一日より全島一齊にその願書受付が開始され、決戦下に頼母しい軍國繪巻が展開された。更に敵が不落と誇つたシンガポール要塞の陥落は、三月十日の願書締切を前にして、全島百十萬の青年に多大の感奮を興へ、青年學徒また率先志願、今や志願兵への關心は最高潮に達してゐる。

時恰も大東亞戦争の眞つ唯中、目覚ましい勝利の中に、憧れの志願兵募集は開始されたのでありますが、一般の人々は勿論、とりわけ青年諸君の感奮と歡びは、如何ばかりかと想像されるのであります。三月十日の願書締切日を目指して、全島の熱意はよく昂り、既に十萬をはるかに突破し、毎日の新聞にラヂオに、講演會に、座談會に今や志願兵への希望と關心は最高潮に達して居ります。我が皇軍は世界の何れの軍隊に比べても、最も精強であります。我が將兵は世界の何れの兵隊に比べても最も優秀であります。何が

故に斯くの如く精強であるか、私は今、諸君と共に深く、之を考へ、そしてこの名譽ある皇軍の一員となる機会に恵まれた感激に、共に共に咽びたいと思ふのであります。

去る十二月八日、布哇眞珠灣頭に於ける皇軍荒鷲の大勝利は、抑も何に因るのでありませう。又マレー沖に於ける英國艦隊主力の撃滅、敵が不落を誇つてゐたシンガポールの陥落は、一體何に因るのでありませう。皇軍の征く所、世界の人々を驚嘆させる神業の如き大戦果は、果して何に因るのでありませう。申す迄も無く、皇軍の作

戦と軍備と、戦闘技術の優れてゐることに因るのは勿論であります。最も根本となるものは、御稜威の下、將兵の一人々々が一身を捨て、勤く、所謂捨身奉公の精神であります。この精神こそ、世界の軍事専門家が可能と稱することを、可能ならしめる基であります。

外國の軍隊を見る時、其の多くは義務的の兵隊であり、備ひ入れの兵隊であります。義務的のものは強制力の伴ふものであり、備ひ入れは金錢關係が本になつてゐます。米國が水兵を募集するのに、高い月給を呉れたり、「世界漫遊をした

床しさには、自然に頭の下るものがあります。大陸の野に、太平洋の怒濤の間に、鬼をもひしく働きをしながら、少しも動を誇らず、優しい思ひやりのある、規律正しく、責任は何處までも果す、質素な強い優しい軍人があります。男も女も老人も子供も、全國民總ての憧れの的であり、戦地の住民からも親のやうに慕はれることも洵に無理からぬことでもあります。

稱へられて來ました。然し乍ら我が國に於ては、納税も教育も單なる義務ではなく、やがて之を通して、大君の大業を翼け奉る國民の榮譽であると考ふべきであります。ことに兵役は、大元帥陛下御親ら率ひさせ給ふ皇軍の一員となり、國家非常時の際には第一線に出動して、陛下の御爲國のため、我に仇なす敵を打ちこらす、最も高い大きな榮譽であります。

私は皇民錬成に軍隊教育程適切なものはないと信じます。軍隊こそは皇民錬成の最高道場であると思ひます。軍人精神即ち國民精神を教育の第一的とし、錬成に錬成を重ねた皇軍が世界無比であることは申す迄もありません。

私は皇民錬成に軍隊教育程適切なものはないと信じます。軍隊こそは皇民錬成の最高道場であると思ひます。軍人精神即ち國民精神を教育の第一的とし、錬成に錬成を重ねた皇軍が世界無比であることは申す迄もありません。

更に私は、我が皇軍の高く尊い榮譽を仰ぎ見たいと思ひます。元來兵役は納税及び教育と並び、國民の三大義務と

諸君はニュース映畫に於て、陸海軍大演習の際或は觀兵式觀艦式の際、百萬の大軍や艦隊を親しくみそなはせ給ふ。大元帥陛下の御姿を拜し、思はず襟を正し、

あの有難くも名譽ある軍人に對し、限り無き尊敬と憧れの念を禁じ得ないことであらう。

斯くの如く皇軍は陛下御視ら奉りさせ給ひ、其の御信任の程は、洵に畏れ多いものがあるのであります。明治十五年軍人に賜はりました御勅諭の中に、

「朕は汝等軍人の大元帥なるぞ。されば汝等を股肱と頼み」と仰せられ、限りなき御信頼と御親愛を寄せ給ひ、又、

「我が國の稜威振はさることあらば、汝等能く朕と共に其の憂を共にせよ。我が武維揚りて其の榮を耀かさば朕汝等と共に其譽を借にすべし」と仰せられ、君も臣も一體となり、苦樂を共に遊ばされる有難き大御心を示になつて居ります。

凡そ日本國民として上御一人より斯くも有難き御信頼を受けること、これ以上の名譽が又とありませうか。

我が皇軍には、今度の戦争の所々に見るやうな米國や英國の、印度兵、濠洲兵等の植民地兵は一人も居りません。これは皇軍の本質から考へて當然のことです。

帝國軍人は陛下の御信任を受けるに足る皇國民でなければなりません。練成された皇民でない限りは、

軍人としての名譽は得られないのであります。今や志願兵制度は實施され、斯くも高く尊き榮譽ある帝國軍人となるべき機会が、正に目の前に與へられたのであります。

臺灣統治の歴史の上に、一大躍進を示す所のこの輝かしい制度が實施されるに至りましたのは、御仁慈の下、過去四十七年の間、歴代總督閣下が本島統治の根本である皇民練成に、絶大な努力を傾けられた結果であることは勿論であります。

特に支那事變勃發以來、全島民が一致して、盡忠報國の誠を盡し、或は軍大軍農夫として大陸の野に活動

し、或は勤勞、献金、慰問等に銃後活動の精進を續け、身を以て示した涙ぐましい努力が生んだ賜であります。

諸君は先輩同僚のこの努力の結果を受け継ぎ、新しい時代の臺灣のため、斷然奮ひ起たなければならぬと思ふのであります。

本島は、支那事變より大東亞戦争に引續き驚くべき進展を致しました。現在の一箇月は、正に昔の百年に相當すると言はれますが、我が臺灣の躍進は正にそれでありませぬ。大東亞共榮團の心臓部として、帝國々々土の中の重要性を注目されて來た臺灣は、大東亞戦争の

勝るものはないのであります。先づ第一に、この志願兵制度に對し、燃ゆるが如き熱意を示し、全青年擧つて志願し、以て大御心に應へ奉り、全國民の期待に添はれることを切望して止まないのであります。

本島青年が、晴れて帝國の軍人となり、あの勇ましい軍服に身を固め、胸には勳の勳章を輝かす日の近きを思ふ時、我々も胸の躍ることを禁じ得ないのであります。

元より軍人たる以上、第一線に護國の華と散り、靖國の神とあがめられて、一家一門の名譽とうたはれることは男子の本懐これに

勝るものはないのであります。我が國は支那事變五箇年を戦ひ乍ら軍備は益々充實され、北は樺太より支那大陸を経て南洋に至る迄、百萬の大兵を進め、西に東に、有史以來の大勝利を收め、我が建國の大理想である大東亞新秩序の建設に、邁進して居ります。この秋、世界無比の皇軍の一員となり、この大事業の達成に直接馳せ参することの出来る青年諸君の名譽と幸福は何物にか比べられませぬ。

「み民我れ生けるしるしありあめつちの榮ゆる時にあえらく思へば」今こそ青年諸君は感激の中にこの歌を朗唱すべき秋であります。

私は前途洋々たる臺灣の爲、本島青年諸君の爲、心より感激の萬歳を唱ふるものであります。

情報課事務官
福澤 清

「勝るものはないのであります。先づ第一に、この志願兵制度に對し、燃ゆるが如き熱意を示し、全青年擧つて志願し、以て大御心に應へ奉り、全國民の期待に添はれることを切望して止まないのであります。」

本島青年が、晴れて帝國の軍人となり、あの勇ましい軍服に身を固め、胸には勳の勳章を輝かす日の近きを思ふ時、我々も胸の躍ることを禁じ得ないのであります。

元より軍人たる以上、第一線に護國の華と散り、靖國の神とあがめられて、一家一門の名譽とうたはれることは男子の本懐これに

勝るものはないのであります。我が國は支那事變五箇年を戦ひ乍ら軍備は益々充實され、北は樺太より支那大陸を経て南洋に至る迄、百萬の大兵を進め、西に東に、有史以來の大勝利を收め、我が建國の大理想である大東亞新秩序の建設に、邁進して居ります。この秋、世界無比の皇軍の一員となり、この大事業の達成に直接馳せ参することの出来る青年諸君の名譽と幸福は何物にか比べられませぬ。

「勝るものはないのであります。先づ第一に、この志願兵制度に對し、燃ゆるが如き熱意を示し、全青年擧つて志願し、以て大御心に應へ奉り、全國民の期待に添はれることを切望して止まないのであります。」

本島青年が、晴れて帝國の軍人となり、あの勇ましい軍服に身を固め、胸には勳の勳章を輝かす日の近きを思ふ時、我々も胸の躍ることを禁じ得ないのであります。

時局解説

大東亞戦争の推移 (五)

星港陥落！凱歌澎湃る東亞 アジア十四億、總進軍の秋

情報課

ジャバ胴腹を突かれ、 心臓部破裂の蘭印

二月三日。蘇普南海の空を壓す。見上げれば、日の丸鮮かに翼を連ねた帝國海軍の大航空部隊！目指すは蘭印ジャバ！

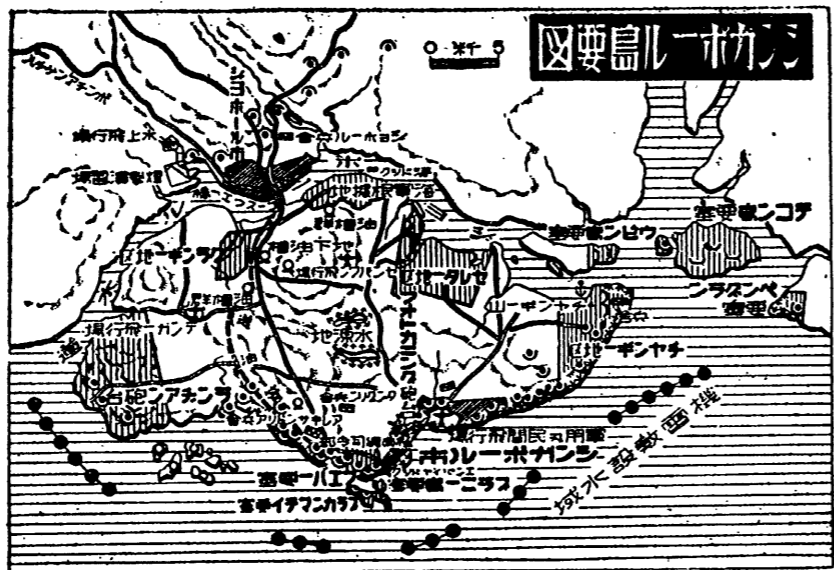
帝國政府が、蘭印に對し「敵性を放棄し我に協力す

一ヶ月足らずして蘭領ボルネオ、セレベス、スマトラ、ニューギニア、蘭領チモールと次々に戦果を擴大し、マカッサル、ジャバ、フロレス、モルッカ、バンダ、所謂亞達地中海を制壓してこゝに大東亞海を現出せしめた。残るジャバ島こそは、オランダ政府が米英兩國の口車に乗せられて三國

合作の抗日軍事基地を固めて来たところである。皇軍の鋭鋒が、このジャバの胴腹を貫いたのである。一瞬にして蘭印の心臓部を破裂せしめたのである。

此の日スラバヤ、マラン、マジウン、マゲラン、レンバン等のジャバ島主要航空基地は、悉く我が海軍の猛襲に曝され、撃墜破された

るならばその將來の繁榮を考へてやらう。それとも徒らに反抗的態度を續けるのなら斷乎、撃碎あるのみだ」との方針を明にしたのは去る一月の十二日であつた。爾來皇軍の活躍は僅か



敵機数は八十五、敵航空兵力の大半が一朝にして灰燼に歸したのである。(我が方自爆一、未歸還三)

二月五日、再びスラバヤ及びバリ島デンパラン飛行場を襲つて米蘭機三十四を屠る。更に二月七、八兩日にわたつてはスマトラ島パレンバン飛行場其の他に襲ひかゝつて一舉六七七機を血祭りにあげて、殘存英蘭空軍に殲滅的打撃を加へ、九日にはパタビヤに二

ジャバ沖海戦、 見敵必殺の戦法

三日のジャバ島大空襲によつて一舉敵空軍兵力を潰滅せしめたわが海軍は、その鋭鋒に些かの緩みもなく、四日の日も大東亞海の心臓部に、好敵御座んなれ

十機を撃墜破、此の合計二百四機に上つた。

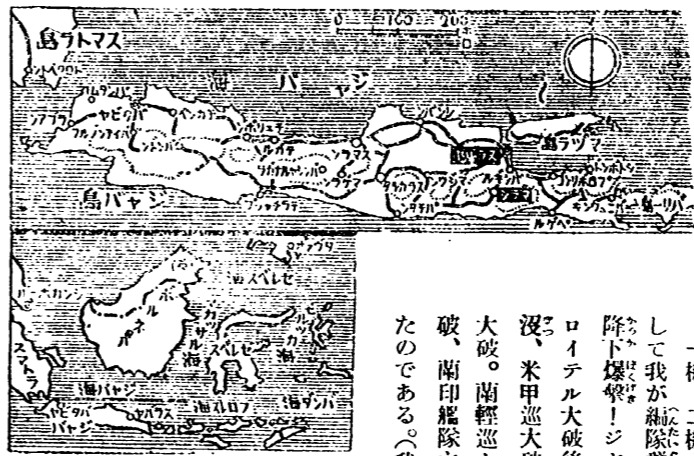
斯くて戦前、米英及和蘭本國より來援した蘭印軍の各種新鋭機三百八十機(内第一線機は百八十機)は我が猛襲に遇つて随つてもこの惨敗を喫し、潰滅の悲運を味つたのである。(因みに大本營發表によれば、二月六日までに撃墜破された敵機は九百十四機であるから、現在では悠に一千臺を突破してゐる筈である)

時局解説

と、高空より敵の艦影を探し察めてゐた。居る、居る！敵の大艦列だ、船相衝突み我物顔に遊戈せる米蘭聯合の大艦列

だ！カンゲアン島南方三十海里のジャバ海上である。我が海鷲の襲来と知つた敵艦隊は、必死、防空砲を放ち續けた。炸裂する高射砲陣の中にあつて、我が編隊陣は沈着、敵の艦種を見定め狙を確めた。蘭印艦隊旗艦デ、ロイテル、オランダ巡洋艦ジャバ、續いて同じくスマトラ、更に米の甲乙巡洋艦数隻とこれを護

衛する驅逐艦数隻。何れも帝國海軍の攻撃を恐れて、開戦以來全くその行方を晦



ましてゐた待望の好餌であらう。見敵必殺！一機、二機……翼を翳して我が編隊が次々に急降下爆撃！ジャバ縣沈没。ロイテル大破後間もなく沈没。米甲巡大破、ジャバ型大破。蘭印艦隊主力が壊滅したのである。我が方の損失

一機のみ）デ、ロイテルはオランダ艦隊一の名提督日本の東郷元帥英のネルソンの如くオランダにとつ

ては國寶的人物の名をとつたものだ、司令官ドールマン少將乗せる筈、ジャバスマトラは共にかつてはオランダ艦隊旗艦の重任を交互に勤めた艦、米甲巡は艦名不明なるもヒューストンなれば西南太平洋聯合艦隊の指揮官トーマスハート大將が乗せる筈である。前日のジャバ空襲による敵艦の大量撃破といひこの海戦に於ける大戦果といひ、既に我が空襲の豫想せらるべきジャバ島基地に安閑と機翼を休めたり、我が制空制海權下にある大東亞海に揚々と艦列を浮べたり、無謀といはんか大膽といはんかこの敵作戦につい

時局解説

て我々は一沫の疑念なきを能はない。ハワイ海戦、マレー沖海戦で我が海鷲の偉力は十分に知らされてゐる彼等が、何を好んで自らの我が荒鷲の餌食となるの途を撰んだのか？これは唯に米英蘭の兵力を掻き集めた缺陷なりとの答へだけでは判じきれない疑問である。

然らば何が彼等をして「飛んで火に入る夏の蟲」たらしめたのであるか？曰く「マカツサル海戦」！「マカツサル海戦」！我々は首をか上げざるを

得ないのだ。マカツサルはボルネオとセレベスの中間に横たるは海だ。そこで何日海戦があつたのか？かしげるも當然、そんな海戦はどこにもなかつたのだ。米國が捏ね上げ、作りあげた出鱈目の海戦だつたのだ。即ち去る二十五日米國はUP(米國通信社の名)バタビヤ電を材料にして、マカツサル海上日本戦艦二十隻を撃沈したと大々的に放送して、連戦連敗の米國の面目保持といふ窮餘の策を考へ出したのである。そして自國側に絶對の信頼を寄せさせてゐたのである。かくて蘭印軍は、のみならず米自國の艦隊までが、大東亞

海の制空制海權は今尙自國側にありと妄信してゐたのである。正に噴飯的迷夢である。かくて彼等は機翼をジャバに休めて白日の夢を追ひ、ジャバ沖に艦列を浮

星港陥つ、凱歌揚る大東亞に歴史の總進軍

た。その道路が今は英の敗退路とならうとは！昭和十六年十二月八日、皇軍は馬來東岸シンゴラ及びバタニに上陸した。この日から、英の發展道路を、その血液が逆流し始めたのである。侵し進んで來た道が、今は攻められ、敗れて退く衰亡の路となつたので

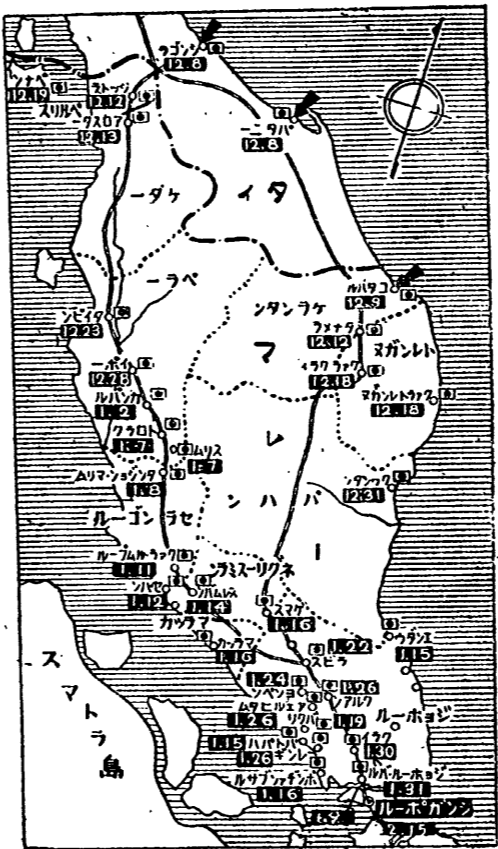
時局解説

ある。この日に
 正に新東亞歴
 史の第一頁であ
 った。
 上陸來僅々五
 十五日にして踏
 破すること一千
 百軒、遂に全半
 島より敵を驅逐し去つて、
 半島南端の星港島に追ひ
 込んだ。
 勇猛果敢、神妙至絶の攻
 略作戦にあつたこの方
 面の最高指揮官がその覆面
 を除つて、我陸軍の至賞山
 下奉文中將なることが明に
 されるや之と時を同じうし
 て、ジョホール水道を一氣
 に乗り断り、敵前上陸に成
 功した皇軍は、潮の如くに

星港島へ雪崩れ込んだ。
 時は二月九日午前零時であ
 った。
 だが、英が十五ヶ年の日
 子と巨額の費用を投じて築
 きあげた要塞島星港は、流
 石英が東亞の軍事侵略の牙
 城と頼んだだけであつて、然

う易々と突入出来たのでは
 ない。
 半島の南端、星港島の對
 岸ジョホールバルを占領し
 たのは二月三十一日、以來
 十日間、その間には凡ゆる
 手段をつくしての周到なる
 用意と苦心と危険を冒して

の探案があつたのである。
 呼べば應へる幅一軒の水
 道に隔てた對岸星港島か
 らの敵監視の中を、それと
 見破られれば忽ち銃砲火の
 集中を浴せられる濱邊を、
 腰に白布を纏ひ馬來人の姿
 にやつして敵情を視察した



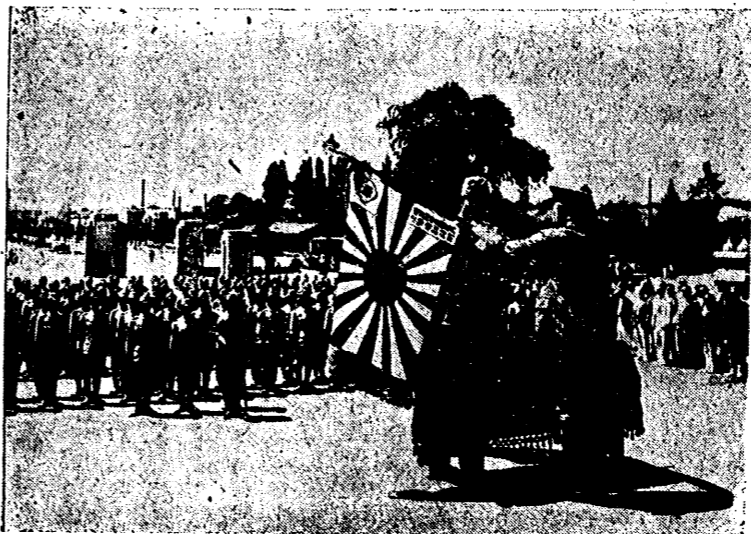
時局解説

將校もあつた。
 夜半、月の出前の漆闇に
 身を托して眞裸、寸鐵の武
 器も帯びずに、見つければ
 即座に惨殺の憂目をうけね
 ばならぬ危険を冒し、只一
 人一杆のジョホール水道を
 泳ぎ渡つて、上陸豫定地の
 水深、地形を探偵した一兵
 もあつた。
 榮冠涙ありとか、この陰
 にある身命を擲つての苦心
 用意こそ忘れら
 れてはならな
 い。
 星港島に敵
 前上陸してより
 一週間、頑強
 に抵抗する敵を
 隙所に破つて、

星港市周邊を包圍した皇軍
 は砲列の陣を布いて、殘敵
 英軍を震憾せしめた。脱出
 せんとする英船は忽ちに發
 見されてわが荒鷲の餌食と
 なつた。十四日には英が東
 洋一と誇り世界的軍港であ
 つたセレーターにわが海軍旗
 が飄つた。
 降伏か、殲滅か、全世界
 の心と目と耳が、この東亞
 の一點、星港に集つた。
 昭和十七年二月十五日午
 後七時五十分！老國英吉
 利に弔鐘が鳴り渡つた。
 嗚呼！英人は慟哭いたであ
 らう。無條件降伏の白旗が
 あげられたのである。
 沸き騰る喚聲！全東亞に
 凱歌が湧ち汗つた。星港

が陥ちたのである。だが一
 戦はこれからだ！！
 敵は更に第二段の構へに
 移るであらう。ならば我は
 百年長期戦の覚悟と備へを
 示さう。彼にその執拗ある
 ならば、我には、この決意
 斷行があるのみだ。
 太平洋はわが胸、大東亞
 の海はわが掌。こゝに残存
 する敵兵力のゲリラ的毒
 動は畢竟、佛の掌中を宇
 宙と考へた孫悟空の迷に過
 ぎない。南方資源地域の確
 保は、今や逆に米英を經濟
 封鎖の圏内に押し込めた。
 南海を完全に制壓し、星
 港を陥れた今日、濠洲と
 印度は直接の脅威をうけて
 軍口なく、ビルマ亦反英獨

立の氣運に漲り、サルウイ
 ンを渡つてマルクパンを完
 全占領（十日）、首都蘭貢
 に鐵路約九時間の地點に迫
 つた皇軍を迎へてゐる。だ
 が――
 戦は建設の戦である！
 資源はいくらあつても餘
 りはしない。米英は凡ゆる
 手段を弄して東亞共榮圏の
 確立を妨害し、凡ゆる宣傳
 を用ひて東亞諸民族の離間
 を企むであらう。
 古い歴史が崩れ、新し歴史
 の建設が始まる。侵略の
 牙城たりし星港は今や新
 なる建設の據點とならねば
 ならぬ。今こそ東亞十四億
 の民の起ち上る秋！今こそ
 東亞新歴史建設へ總進軍の
 秋！
 （二月十五日）



(南總督より所長に所務授與)

朝鮮志願兵

中

黒木俊朗

訓練所の日課

こゝで参考迄に、李仁錫の入った訓練所の日課の概略を述べて見よう。

京城から西北に四里、京城から鐵道で約三十分の墨洞驛下車すると、すぐ四面松山に囲まれた盆地に眞新らしい赤煉瓦の建物がある。朝鮮陸軍志願者訓練所の看板も目新らしい。訓練所の直ぐ裏も松原で浮世離れた平和な村である。正確に言へば京畿道揚州郡廣海面孔楸里である。

汚れた魂を根こそぎ洗ひ浄めてくれさうな美しい自然に抱かれて、安らかに静かに一夜を眠ると、夏の太陽は東の山に輝いてゐる。

清々しい朝の静寂を破つて、起床喇叭が山峽の松林にこだまするのが午前六時、寢室器具の整理、洗面まで四十分、それから所庭に出て毎朝點呼を受ける。直に朝禮、先づ伊勢皇大神宮と宮城に向つて敬虔なる遙拜を捧げる。

次いで皇國臣民の誓詞齊唱、唱歌、海行かばしの合唱を高らかに響かせて、上半身裸體のまま、

八、入浴日

火、木、土は入浴をなさしむ(近く毎日入浴せしむる様設備中)

九、日用品販賣

毎日所用の物品を販賣す

一〇、醫務室

毎日患者の診察(服藥、治療)をなすと共に、衛生思想の徹底に努む

午前中三時限の授業に引續き、午後は更に四、五、六、七と四時限、計七時限の授業の終るのは午後の四時半頃で、一日の授業は終りを告げる。然し授業が終つたからと言って、決して訓練が終つたのではない。訓練所内六箇月の期間はぶつ通しの訓練である。でも一週授業を終つて、器具の手入を済まし、食堂からホヤ

一日の生活訓練

一、朝禮

- 1 宮城 (遙拜)
- 伊勢皇大神宮
- 皇國臣民の誓詞齊唱
- 「海行かばし」合唱
- 皇國臣民體操—木劍

二、訓育

- 1 訓育は筆國の本義と國體の尊嚴なる所以を體得せしめ、皇國臣民たるの信念を鞏固ならしむ
- 2 普通學科
- 國語、作文、國史地理理科數學の二科目は昭和十五年度より中止
- 3 精神教育に重きを置く
- 4 教練術科は精神的訓練に重きを置く

三、夜の講堂訓話

- 1 御製の講解をたす
- 2 趣味的な精神訓話をなす
- 3 靜座
- 4 默想、反省
- 5 一日の訓練所生活を反省せしめ、故郷の父母の安、穩を祈る
- 6 一日の訓練所生活を感謝し就寝せしむ
- 7 會食
- 8 土曜の夕食は講堂に於て會食をなし、其間食事に關する行儀作法の指導をなし、且つ訓練所生活の楽しみを感ぜしむ
- 9 生活検査
- 10 土曜官給品及び私物の手入
- 11 整頓状況其の他班内生活の検査を實施す
- 12 理髮
- 13 第一、第三日際は全員に理髮をなさしむ

木劍をとつて烈々の氣合と共に、皇國臣民體操、雪の朝も霜の朝も汗ダク／＼で朝禮を終る。

朝の行事が終ると食事である。健康な若人の腹はもうすつかり空いている。

八時から掃除検査と服装検査を受ける。これが三十分間、八時半から班食時間の十一時二十分まで訓練である。午前中の授業は第一第二第三時限と區切られ、各五十分づつで、その間十分の休憩時間がある。

科目は訓育科と普通學科、教練術科の三つに分れてゐる。が何れも精神的方面に重點が置かれてゐる事は勿論である。

一日の生活を訓練所のプリントで見ると次の通りである。

くの飯を内務班迄運搬が運んで来て、いよ／＼夕食となるのはやはり一日で一番楽しい時間である。而も訓練に厳しい教官も、一面慈愛の父であり母でもある。食事の模様を見に来ては、健康状態を聴いたり家族の安否を尋ねたり親切にしてくれる。

入所當時は、今迄の生活とは百八十度の生活転回なのだ。面喰ふものもあるが、風光の美しい所で規律正しい生活に慣れると、入所當時とは打つて變つた。爽々しい軍服も美しく頼母しい。夕陽が遠くの山に眞紅の光を燃やす頃、故郷に思ひを走らせては、故郷の人達の自分にかける期待を思つて、胸のどよ／＼を禁じ得ないものがある。かうした毎日を送り迎へする

中に、訓練所の六箇月は夢の間に過ぎて行く。

訓練に徹して

郷土官民の絶大の期待の下に入所した李仁錫は、入所と共に第二班長の重責を擔ひつゝ、心身共に皇軍としての準備教育を受けるのであつた。

然し訓練所は、單なる準備的豫備訓練の場所ではなく、學科、術科の一切を通して精神教育の道場であり、大和魂錬成の道場であり、いつでも喜んで大君の醜の御桶となる、理屈なしの實踐的訓練所である。従つて訓練所では教授課目にも訓育科と言ふのがあり、(1)勅語による訓育 (2)勅諭による訓育 (3)生活訓練(躰の訓育) (4)

國民道徳 がある外、地理も國史も總てが日本人への實踐的精神教育である。例へば地理

の教授題目が「東亞共榮圈」となつて居り、國史の題目が「八紘一宇」である事によつてもその一切を知る事が出来る。

先づ完全な日本人へ、そして皇軍へ、これが訓練所の目標である。教練や銃剣術も同様で、技能や動作の形成よりもその基礎たるべき根本精神を鍛錬する事、

護援で料塗を材資員動

トニイペ西關

海上・天奉・城京・京東・阪大

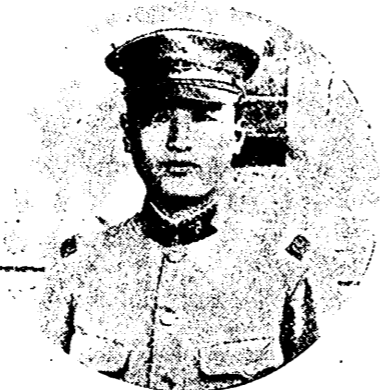
これが軍隊に於ける職階目標の教練と異つた點として取上げられて激しい訓練が續けられる。訓練の日が重ねられる中に生徒はめき／＼立派になり、顔色から日の玉の光から歩き方まで異つて来て、一日々々の生活が楽しく、希望に満ち、そして逞しく育つて行く。

勿論此の際には海田大佐をはじめ、教官、その他の職員、血のにじむ努力がある事は言ふまでもない。教官達は彼等を規律生活の中に、日本の家庭生活の躰をとり入れ、彼等と共に入浴し、入浴の作法を教へ、食事の感謝と楽しさを植えつけ、便所の使用法から室への出入作法迄生活の基本から訓練つけて行つた。

かくて彼等は訓練所の教育が

自分自身の爲に幸福である事をつく／＼感じて来た。班内の整頓ぶりは參觀者をして驚嘆せしめた。然し彼等の磨かれた美しさは外形だけではなかつた。

彼等が郷里の親や知友への通信は、いづれも訓練所生活の眞隨を傳へ、皇國に生れた喜びを謳歌して、後輩の志願をすゝめる精神的な伸張を見のがしてはならない。自身自身の爲になる教育と感ずる事から朝鮮人の爲になる。否朝鮮人は日本人になり切る爲にかくあらねばならない、と感じる魂の錬成、それこそ教育の最大の



兵等上錫仁李の日しり在

狙ひであつた。而も此の效果の原因の他の一つには、二千三百萬同胞の絶えざる激勵支援があつた事を忘れてはならない。「我こそは朝鮮一の志願兵に」

規律は容赦なく彼等を律した。けれども彼等は幸福であつた。輝しい前途と、伸び行く自分に満足な微笑は禁じ得ないものがあつた。

中でも第二班長李仁錫は日頃の熱血が火と燃えて、感々訓練に徹して行つた。

「子供は立派に育てます。あなたは家の事は決して心配しないで、一生懸命に訓練に精進して立派な日本軍人になつて下さい」と手紙で勵ましてくれる妻の姿と、

「仁錫は御國の爲に働いてゐるのだから、俺も負けずに二倍も三倍も働かなければ……」と言つて黙々と野良に働く父の姿、母の姿を懐に描く彼は、火の玉となつて訓練にいそしん

「我こそは立派な皇軍の一人に」
めい／＼がさうした決心を持つてゐた。
意志は徹底的に鍛へられた。

だ。
彼は學科の成績に於ては、必ずしも他の生徒に秀れてゐたとは言へなかつたが、人物を綜合しての成績は斷然群を抜いてゐた。

「李仁錫はキツト立派な兵になるぞ」「彼ならキツト物になる」さうした聲が訓練所の教官室で交はされ始めたのは、人その後四五箇月目からであつた。

内地旅行の感激

「月日のたつのは早いもの」そんな言葉が使ひ古されたものである事は知つてゐながら、訓練所の六箇月が餘りにも早く過ぎて行つたのに驚いたのは、卒業も追つた十一月だつた。
身も心も張り切つた楽しい

半歳に秋深み、蕭條と落葉の鳴る頃、第一期生四百餘名は、海田大佐引率の下にあこがれの内地に旅立つ事になつた。先づ伊勢神宮に参拜し、帝都を訪れ、皇居を遙拜して歸郷しようと言ふプログラムである。

内地に第一歩を印して彼の感じたのは、内地の山河の美しさであつた。港外から見る下關や門司の姿が朝霧の中に浮き上つた時思はず彼は目をみはつた。

山陽線沿線の美観も亦想像以上だつた。殊に沿道遙かに井然と鎮く田舎、青々と連なる野原、人家の軒に瀟々たる花、そしてそれらの家の多くに出征後の家庭を守つてゐるであらう婦人達が、土にまみれ汗にまみれて働いてゐる有様は、模範農家を目指した彼だけに特に深い感

概を覺えた。殊に婦人の餘り働かぬ朝鮮と對比する時何かしら考へさせられるものがあつた。

旅行の歸り途、列車から列車へ、海田大佐は生徒達の肩を叩き乍ら、「今度の旅行はどうだつた」と感想を訊いて歩いた。そしてどの生徒もが満足な答辯をすると、心から嬉しさににつこりした。

「おい、李仁錫何を書いてゐる？ハハア、旅行日

！る誇き味切

双替全安一チーテ

セルロイド製

T.G.

TVAET

印オガエ 器全安

鏡本双替全安一チーテ元寄發

記か「ハツとして立ち上らうとする」と、

「いゝから掛けて居給へ。それよりどうだね。旅行の感想は。」
「ハイ、伊勢の皇大神宮の神々しさは唯有難いと言ふより外はなく、神國日本の尊さをしみじみと知りました。それから此の旅行を通して吾々が今迄想像だに及ばなかつた祖國日本の文化の發達と、其の偉大なる國力に驚きました」と一氣に臆を輝して言つた。

海田大佐は満足さうに首肯した。
李仁錫は續けて言つた。

「女子供や、白髪の老人が、氣な姿には自然と頭が下り、胸が熱くなるのをドウする事も出来ませんでした。兵隊さんの勞

苦を思へば何事も忍べる」と言ふあの力強い統後の姿を見て、自分も皇軍の一人として、君國の爲、一死御奉公せねばならないと決心させられました。」

「さうか。うむ」大佐は四百の生徒が短期間の旅行で、眞の皇國臣民となる爲の忘れ得ぬ終生の感激を得て歸る此の旅行を、責任者として心から喜んだのであつた。

生徒も亦みんな、彼等が將來戰場に立つ時も、郷黨にある時も必ずや此の感激が實踐となつて現はれる日のある事を信じ心に誓つたのである。

V・A・B・C・D協力榮養劑

コンビター

長い体を造れ!

お菓子の様にのみよい小粒

★コンビターは、肝油(V・A・D)とV・B・Cとを綜合し、九折した新發明で、そのA・D分は普通肝油の五十倍以上の高單位です。

【毎日】 大人五粒 小児二粒 入七〇〇

東京 荒川長太郎會社

VITAMIN A+B+C+D=COMVITA

皇民講座

第三十講

皇軍の強さ(二)

皇軍の強いのは第一に、忠君愛國の念のさかんなことによるのである。

およそ日本人である以上、忠君愛國の念のさかんなところは、三千年の昔からのことであるが、軍人のえらいところは、死をもつて忠君愛國の念をつらぬくといふことにある。一たん戦争に出た以上、生きてかへらうとはおもしろくない。君のため國のために命をさしげることが、日本男子たるもの、最大の名譽であるといふべきであらう。かういふ考が一人々々についていてゐるから、皇軍は強く、そのはたらきがめざましいのである。

軍隊では、何事をなすにも、上官の命令は、たゞちに天皇陛下の御命令であるといふ。進めといふ分

隊長の號令も、「突つこめ」といふ小隊長の號令も、それはたゞちに 天皇陛下の御命令であるから、一たびその號令がかゝると、火の中、水の中をかへりみない。數十倍の敵であらうが、十字砲火の中であらうが、勇猛果敢に突撃する。その士氣のさかんなことは、たとへやうがない。これはみな忠君愛國の念のさかんなところから來るので、まつたく死をかくごしての行動である。かういふかくこの皇軍の前には、トーチカも機關銃も、三萬トンの軍艦も大要塞もんだいにはならないのである。

第二に、皇軍の強いわけは、へいそ猛烈な訓練をうけてゐるからである。

この訓練によつて、精神をねりからだをきたへる。皇軍の訓練のしんけんさといふものは、一とほりや二とほりのものではない。げんかくな規律のもとにたつて訓練をする。實戰同様、いや實戰以上の猛烈な訓練だ。その訓練によつて必勝の信念をやしなふ。それだから戦つたとするとすばらしい戦果をあげることができる。こんど大東亞戦争における戦果なども、へいその猛烈な訓練による必勝の信念のあらはれにほかならない。

アメリカだらうがイギリスだらうが、戦つたらかならず勝つ。勝たずにおくものか。死んだつて勝つといふいきごみで戦ふものだから、あゝいふやうな大戦果をあげることができるといふのだ。

このごろ新聞にでたことばに「月火水木金」といふことばがある。これは一週間のうちに土曜も日曜もないといふ海軍の猛訓練ぶりをいひあらはしたとばだといふが、ひとり海軍だけでなく、陸軍もまた同様に、へいそ猛烈な訓練をしてゐるのである。忠君愛國の念にもえる軍隊が、かういふ猛訓練をうけてゐる。いざといふ時にめざましいはたらきをするのは當然ではないか。

第三には、皇軍の強いわけの一つとして、兵器の優秀なことをあげなければならぬ。

皇軍は、士氣がさかんであるから、から手でも戦へるかといふと、さうはいかない。いくら皇軍でも、そんなむちやなことではできないものではない。かゞやかしい戦果をあげるためには、優秀な兵器がなければならぬのだ。ところがこの兵器においても、けつして外國にまけてゐない。機關銃でも大砲でも、飛行機でも軍艦でもじ

つにりつばなものができてゐるといふことだ。かういふ優秀な兵器の力が、皇軍の戦果となつてあらはれることはいふまでもない。たゞしかし、皇軍は兵器にたよるといふことをしない。兵器よりも人、どんなにすぐれた兵器でも、それをつかふ人間がしつかりしなければだめだと考へてゐる。なるほどそのとほりで、こんどのマレー戦でイギリス軍のつかつてゐるホーカー・ハリケーンなどいふ飛行機はイギリスじまんの優秀なものらしいが、さかんに皇軍にたゞきおとされてゐるではないか。だから兵器よりも人といふことになるので、皇軍がすべて人をもとにして、兵器をそのつぎに考へてゐることは、きはめてかしいややかたである。

以上、皇軍の強いわけを三つあげたが、この三つの中心となるものは、忠君愛國の念がさかんであるといふことと、これが皇軍のぜつたいな強さであり、世界のいかなる國の軍隊もおよばないところである。志願兵とならうといふ青年諸君は、この點を十分に考へてみるべきである。

總督府編修官 中 美 春 治

部報回覧板

皇軍感謝週間

陸海將兵の勞苦を偲び 來る三月十日より實施

昭和十六年十二月二十五日、香港陥落。
昭和十七年一月二日、マニラ陥落。
二月十五日、シンガポール陥落。

敵が不落と豪語して妄動した
東亞侵略の據點は、皇軍將士の
果敢なる攻撃により相次いでわ
が軍門に降伏した。今やわが南
方作戦は、世界環視の下に、米
英勢力を完全に驅逐し、大東亞
の新天地に黎明の曙光をもたら

さんと、着々と戦果を南方に擴
大してゐるのである。
皇軍の赫々たる戦果に對する
われ／＼國民の感謝の念は、凝
つて第一次戦捷祝賀大會とな
り、去る二月十八日、皇軍のシ
ンガポール入城の歴史的なこの

日を期し、全島民舉げて喜びを
共にし、更に大東亞戦争の完遂
に向つて邁進するため、心から
戦勝を祝し合つたのであつた。
だが、大東亞共榮圏の建設が國
家百年の大計を確立せんとする
大偉業であることを思ふ時、わ
れ／＼は徒らに戦勝に酔つては
ならない。あらためて皇軍の勞
苦に對する感謝の念を新にする
と共にいよ／＼長期戦の覺悟を
固くし、この感激を國策協力の
中に更に力強く活かさうではな
いか。
そのため來る三月十日の陸軍
記念日を第一日として一週間に

わたり、皇軍感謝週間が實施さ
れることになつたが、新秩序建
設の勞苦を前線將士と共に分つ
ため、皇軍に對する感謝の念は
もとより、われ／＼の生活を深
く反省し更に緊張をはかりたい
と思ふのである。
豫定されてゐる行事としては、
一、三月十日、各戸に於ては國
旗を掲揚し
一、同日正午、各職場、家庭及
屋外一齊に戦捷祈願、戦没將
兵英靈に對し感謝の默禱を捧
げ
更に各市街庄に於ては講演會、
映畫大會が實施されることにな
つてゐる。又、三月八日のラヂ
オ當會は、特にこの趣旨に基い
て開催することになつた。神社
參拜、國防献金、慰問袋、國債
の購入、陸海軍病院慰問等はも

とより、戦線を偲んで生活を一
層簡粗にし、乗物、宴會等も
出來得る限り廢止する等、皇軍
に對する感謝の念を、力強く實
踐に移していただきたいのであ
る。

志願兵訓練所

五月下旬に竣工豫定

軍旗の下に馳せ參する志願兵
その志願兵への登龍門たる志願
兵志願者訓練所は、建設費約七
十萬圓を投じ、臺北市郊外三張
犁より六張犁にまたがる約十一
甲の用地に建設することに決定
した。まづ本月下旬より工事に
着手し、本館一棟、兵舎三棟、教
室二棟、大講堂一棟、武道場一棟
術科の三科目に決定した。

戦果に應へて

國債の消化

皇軍の輝かしい戦果にこた
へ、この喜びを永久に記念する
ため、新嘉坡陥落記念國債と貯
蓄債は、去る二月十六日より

全國一齊に賣り出された。本年
度の本島貯蓄目標額二億八千萬
圓及び國民貯蓄組合當額三千
五百萬圓の突破を期し、統後六

南方戦線に活躍の

臺灣勞務奉公團

本島青年ここにあり

世界戦史に比類なき大東亞戰
争のかけに、本島青年の生死を
こえた汗の奉仕が秘められてゐ
る。これこそ比島に、佛印に、
はてはマレーの征役に、彈雨も
物かはあるひは荷役に、又は飛
行場の整地作業にはたらく臺灣
特設勞務奉公團の活躍がそれだ
である。

この奉公團は軍の要請により
總督府が本島青年のみを以て組
織したもので、團員の選抜方法
は既成勞務奉公團や勤行報國青

百萬島民の最大義務たる貯蓄の
増強と國債消化の完遂を計らう
ではないか。
年隊に於て訓練を終へた者で、
本人の希望により年齢二十歳か
ら三十歳までの青年層から各州
知事の指名選抜として、隊編成
は五中隊に分け、各州毎に一箇
中隊を編成し、小隊長、分隊長
等には團員中より特に優秀な青
年が選ばれ一絲亂れぬ統制が布
かれてゐる。これら中隊の甲斐
々々しい奉仕作業は、現地軍當
局をいたく感激させ感状を受け
た中隊もある程である。



大東亞戦争を繞りて

英國人氣質その他

復讐陣地

香港陥落のとき、わが軍が三回もイギリスの香港總督に向つて降伏を勧告したのであるが、負けるといふことが分つてゐるのにもうしても降伏しない。それとどう／＼わが軍の猛烈な攻撃に堪へ切れず、僅か十八日で(十二月廿五日)無條件降服を申出て來たのであるが、この十八日の間なぜあのやうにガンバリ通した

かといふとそこにわけがある。

香港の兵力は英本國、カナダ、澳洲、印度兵といふ四種類の兵隊が集つてゐるのであるが、復讐陣地といふものが出來てゐて、前線が一番危険な所に印度兵、その次に澳洲兵、それからカナダ兵と順々に配列し、一番うしろの線に英本國兵がかくれてゐたのである。それでわが軍の猛烈な攻撃に會つて、印度兵、澳洲兵カナダ兵といふ順に大きな損害を受けて行く、い

よ／＼最後の復讐陣地に逃げ込んでゐた英本國兵が危険になつて來ると、まだ相當の餘裕があると思はれるのに、忽ち白旗をあげて降服してしまつたのである。

英國はポーランドとの固い約束をまるで古わらぢでも捨てるが如く棄て去り、又フランスを見殺しにしてサツサとダンケルクから逃げ歸つたその根性が今にして分るのである。

大増税

イギリスは一九三九年

(昭和十四年)開戦の年所得税の第一回引上げをやり、

つづいてその翌年には二回も大幅引上げをやつた。開戦から僅か二年間に所得税だけで百二十億圓以上の増税をやつたと言ふから、國民は四苦八苦の有様だと言ふ。その他戦時利得課税を六割から十割に引上げ、仕入税といふものを考へて國民の日用品であらうがゼイタク品であらうが、商品と名のつくものすべてに卸値段の三分の一、小賣値段の二割四分を税金として賦けるのである。お蔭で政府の稅收入はふえたが、國民はあまりにも高い税金で泣いてゐるといふことであ

る。

またアメリカでは戦争をするつもりで一九四〇年(昭和十五年)、二回にわたつて約三億萬ドルの所得税増徴を行ひ、新しく超過利得税、製造者と小賣業者の消費税など、矢つぎばやに考へ出し、一方資本株式稅相續税などの大幅引上げをやり、今年(一九四二年)は驚くなれば百五十億ドルの大増税をやると言ふ。

わが國も昭和十七年から約十億圓の増税をすることにきまつたわけだが、米英兩國と比べてまだ／＼問題にならない位の増加率である。

英國兵氣質

マレイ半島イポーに「日の出ホテル」を經營してゐる日本人今村よしといふお婆さんは、次の如く語つて。

「八日(十二月)午前三時ごろイポーにある十五軒の日本人家屋は一齊に襲はれ、六十九人全部が留置されてしまひました。四五日すると前線から負傷した兵隊(マレイ人、印度人)が澤山イポーに送られて來ました。負傷兵達が傷が痛んで苦しんでゐると、イギリス人の軍醫がうるさがつて手當もしないで、注射を

一本打つて殺してしまひます……云々」

マレイ在住十數年の石原産業海運會社の社長石原廣一郎氏は次の如く語つた。
「こけおどしのやうな英國の駐屯部隊の兵營が、クララルムプールの郊外にあるのだが、これがまたわれ／＼の想像も出來ないジョンブル式なもので、兵舎は煉瓦造の外側を

創業明治四十一年

日本ペイト

東京大阪華天台北

しやれた白ペンキで塗つたスマートなもので、外から中をのぞくと、なまめかしい女のシュミーズだとか靴下、それに赤ん坊のおむつなどが取しげもなく、日中干してあるのだからあきれてしまふ……云々

黒人壓迫

世界中の黒人種は、合せて一億五千萬人位あらう。外に黒人とは普通言はれてゐないが、印度人が三億五千萬人ある。黒人は主にアメリカ、アフリカ、南洋等に分布してゐる。この中印度人は英國の限りなきザン

コクな政治で泣いてゐるし、アメリカ黒人も又動物以下の虐待を受けて、泣くにも泣かれない有様である。平生口に正義人道を叫んでゐる米英人も、その實は人面獸心で鬼畜以上な人種なのである。

アメリカの黒人壓迫は有名なものであるが、特に南部地方で最もひどい私刑が行はれる。その方法も近頃首絞めや、火炙りなどではあき足らず、最近では黒人を金庫の中へ押し込んでナイフでこれを爆發させるといふ新手法まで考へ出してゐるといふ。

第一次歐洲戦争のとき、

四十萬人の黒人が勇んで志願して西部戦線で非常な手柄を立てたにもかかはらず、パリの凱旋式には彼等の切なる願ひも聞き入れず、これを参加させなかつたのが米英であつた。

印度は過去二百年の間イギリスの弗箱として絞れるだけ絞り取られてゐる。そのためにあの物のゆたかな印度に住む三億五

千萬の大部分は一年の三分の二の食物しか得られないといふ。あとはみな英本國に取られてしまふのである。だから印度人は餓えて死ぬ者が非常に多い。英國人の平均壽命が五十八年であるのに對し、印度人は僅かに二十三年といふ驚くべき早死をする。

印度人はいつも英本國に反抗するのであるが、その都度、大量死刑が行はれ、大砲や機關銃で一まとめにして殺されるのである。

南方寶船

二月十日發の東京同盟は次の如く報じてゐる心から「兵隊さんありがたう」と言

ひたくなる。

作戦中の皇軍が銃後に贈る親心、南方占領諸地域からの寶船が、續々と内地に向つてゐる旨、政府の答辯があつたと、明年度總豫算案が上程された十日の貴族院本會議で、豫算委員長林博太郎伯が報告した。これは去る七日の貴院豫算總會で武藤陸軍軍務局長が行つた答辯から報告されたもので、皇軍が上陸した地點は、港なく遠淺で船も着けられない状態で、軍當局では第一線部隊や現地輸送指揮官に手配し、着々南方物資の輸送に努めて居り、委員長報告によるとその實況は左の通りである。

二月一日までに米四萬五千噸、その中一萬二千噸は輸送完了し現在輸送中のもの一萬三千噸、配船決定のもの二萬噸、護謨は一萬六千噸、この中内地に來たものは二千噸、輸送中のもの七千五百噸、配船決定のもの六千五百噸、砂糖三萬七千五百噸、内地に來たもの

朝日上海火災

本館 東京市北台支店
大阪市北台支店
北本市山崎支店
濱松市常盤支店
雄略一丁目

海上保険
火災保険
運送保険

大坂出張所
東京支店
大阪支店
雄略一丁目

富豊庫在

PRINCE
WAVE
AUTOBLADE

心地よい
感觸
素晴ら
切味!

大坂出張所
東京支店
大阪支店
雄略一丁目

料 肌 整 白 乳

は方子男
に後り剃ゲヒ



て滴三二ノンホ
肌お すて構結
滑とヤツヤツは
健いし美にから
すまりなど色康

は方人婦御
に後顔洗

色 肌
色 白

ドーフトーレ

露光量違いにより重複撮影

乳白整肌料

男子方には
ヒゲ剃り後に



ホノンニ三滴で
結構です
は結構
はツヤツヤと
から美にし
は健
は康と
はな
はり

御婦人方
洗面後に

露光量違いにより重複撮影

部
紙
販
売
所
各
大
手
商
店
に
在
り
ま
す
。